

～現場の課題整理・施策検討・実行により、働き方改革の実現を支援～

富士通Japan株式会社

令和4年度に実施された『教員勤務実態調査』では、前回調査（平成28年度）と比較して、全ての職種で在校等時間が減少したものの、依然として長時間勤務の教師が多い状況が続いています。

富士通Japanは、各教育委員会・学校における働き方改革の実現に向けて、現場の課題に寄り添い、より効果的な施策の検討・実行をサポートすることで、教職員の負担軽減に貢献します。

課題（教育委員会・学校）



課題解決に向けたご支援

課題を共有し、見える化した事実に基づいて実行できる改善施策をお客様と共に作り上げます



1 課題の整理 活動テーマの設定



トップ層や現場へのインタビューで
目指す姿や困っている課題を
整理・共有して
活動テーマを設定します

1～2ヶ月

【主な手法】
インタビュー、ワークショップ、
問題点ネットワーク、四象限マップ 等

2 課題の特定 事実の見える化



業務改革コンサルが現場に密着し
現場で起きている事実を
様々な手法/技術で見える化し
真の課題をつきとめます

2～3ヶ月

【主な手法】
業務ヒアリング、業務フロー図、
業務量調査、現場観察 等

3 改善施策の検討 施策実行計画の策定



課題を解決する改善施策を
現場職員様と共に磨きあげて
自分ごとで実行できる計画に
作り上げます

2～3ヶ月

【主な手法】
ワークショップ、アンケート、
実行計画書、交付金申請支援等

4 改善施策の実行 施策実行と効果測定



効果を測る仕組みを回しながら
施策実行における
トラブルや新たな課題の解消を
お手伝いします

半年～数年

【主な手法】
進捗確認書、効果測定(業務量調査)、
アンケート、ワークショップ 等

標準的な進め方と各種手法を活用し、短時間で質の高いアウトプットをお客様と共に作り上げます

事例紹介

東京都教育庁様

副校長のサービス管理業務の軽減を図るため、 教員、経営企画室職員、教育庁職員が一体となって改善活動を実施

【活動背景】

東京都教育委員会では、文科省の「公立学校教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」に基づき、「都立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する指針」を策定、教員の長時間労働の改善に向けて、「学校における働き方改革推進プラン」等に基づき、多様な取組みを推進している。

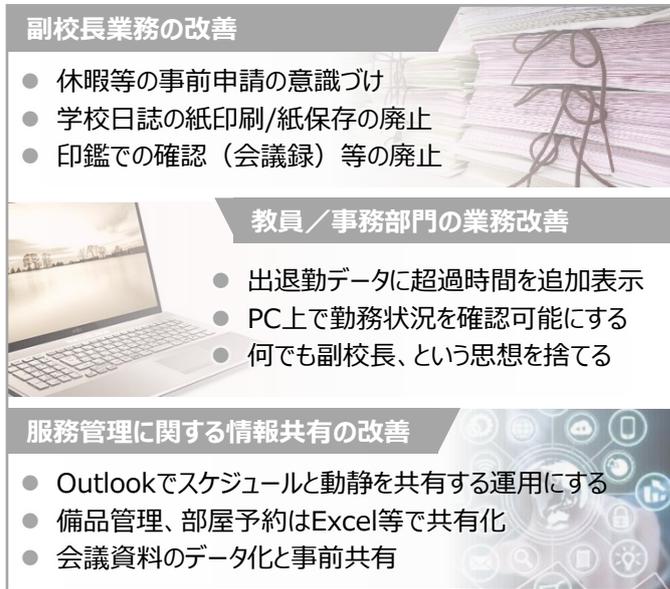
その一つとして、学校経営を支える副校長、主幹教諭等の業務効率化と情報共有の推進をテーマに、モデル校での取り組みを実施した。(2021年)

【活動内容】

テーマ	サービス管理業務の効率化と情報共有の推進
目的	・ 教員（特に副校長）の負担感の軽減と意識改革をはかる ・ 活動成果をスマートスクール構想に繋げる
実施内容	1. 課題整理 教員、経営企画室職員へインタビュー 2. 事実可視化 現場観察、書類調査、アンケート ① サービス管理業務の業務量と実態 ② 処理簿の実態 ③ 情報共有の実態 3. 施策検討 教員目線で改善アイデアを集中検討

【主な成果】

各校の実施施策について、実行内容、前提条件、想定効果、実施体制、スケジュール等を企画書としてまとめ、取り組み始めている。(図1参照)



■ 図1：各校で実行する施策（一部）

川崎市教育委員会様

講義と実践を組み合わせた研修による改革リーダーの育成 ～教職員の働き方改革意識を向上し、自律的業務改善の定着を目指す～

【活動背景】

川崎市教育委員会様は従来より、業務改善活動に着手していたが、より学校現場が自律的に業務改善活動を進め、ノウハウを市内の小中学校に横展開するための方策を検討していた。

業務改善の手法を教職員参加型研修で習得すると同時に第三者視点、民間視点を取り入れることで、業務改善の意識を向上させ、業務改善ノウハウを市内小中学校に横展開することを目的に本取り組みを実施した。(2021年)

【活動内容】

市内の3中学校の代表者を対象に、『改革リーダーの育成』をテーマとした教職員参加型研修を実施。

研修受講校の改革リーダーは業務改善手法を活用し、課題解決の施策から実施計画を立案。研修課題は職場へ持ち帰り、職場全体で検討。組織を巻き込んだ研修を実施した。

【主な成果】

- 業務改善意識が根付きはじめ、学校全体の活動に組み込まれ、次年度も継続していくことになった。
- 会議の短縮、事務支援員への業務移管、ルール厳守などにより、業務効率化が進みはじめている。
- 教職員の意識調査からもとめ意識が高い数値がさらに向上し、全部門がいきいき組織と判定（図2参照）

	Mission			Passion			Relation			組織判定(Before)		組織判定(After)		
	Before	After	差	Before	After	差	Before	After	差	M	P	R	組織タイプ	
全体	3.73	4.00	0.27	3.56	3.77	0.21	3.52	3.82	0.30	+++	+++	+++	いきいき組織	
所属	A中学校	3.83	4.18	0.35	3.52	3.83	0.31	3.58	3.88	0.30	+++	+++	+++	いきいき組織
	B中学校	3.47	3.71	0.24	3.53	3.70	0.17	3.37	3.78	0.41	-+-	+++	+++	いきいき組織
	C中学校	4.30	4.31	0.01	3.84	3.77	-0.07	3.81	3.63	-0.18	+++	+++	+++	いきいき組織

■ 図2：意識調査結果

3.5 以上 (+判定) 差分 0.3 より大きい
0.0 より小さい

2025年8月版

お問い合わせ先

富士通Japanお客様総合センター

0120-835-554 受付時間 9:00~12:00、13:00~17:30
(土日祝日・富士通Japan指定の休業日を除く)

富士通Japan株式会社

〒212-0014

神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 (JR川崎タワー)

